

会議録

会 議 名		令和元年度（2019 年度）文化芸術振興評議会
日 時		令和元年（2019 年）10 月 7 日（月） 午後 2 時 00 分～ 4 時 00 分
場 所		学園都市センター 第2ギャラリーホール
出席者氏名	評 議 員	白澤宏規・萩原修・藤崎晴彦・鈴木雅徳・白沢昌子・阿部ひなた・熊坂麻由美・岩村偉史
	説 明 者	市民活動推進部長・学園都市文化課長 ほか 5 名
欠 席 者 氏 名		垣内恵美子・西川柳時・竹元正美
議 題		1 「八王子市文化芸術ビジョン」の平成30年度取組状況について 2 平成30年度文化施設等の管理運営状況について 3 その他
公開・非公開の別		「公開」
非 公 開 理 由		-
傍 聴 人 の 数		0 人
配 付 資 料 名		〔事前配付資料〕 資料 1-1 文化芸術ビジョンの進捗管理の方法 資料 1-2 「八王子市文化芸術ビジョン」の平成 30 年度取組状況 資料 2-1 文化芸術振興評議会とモニタリングの流れ 資料 2-2 オリンパスホール八王子（八王子市民会館） 資料 2-3 芸術文化会館（いちょうホール） 資料 2-4 南大沢文化会館 資料 2-5 夢美術館 資料 2-6 学園都市センター 参考資料 平成 30 年度文化芸術事業一覧 〔当日配付資料〕 ・次第 ・夢美術館特別展のお知らせ ・八王子市文化芸術振興評議会 評議員名簿 ・八王子市民文化祭プログラム

会 議 の 内 容	事務局 本日は、西川評議員、竹元評議員が欠席。 本評議會は、6月から新たな任期となった。 座長と副座長については、引き続き、座長を白澤評議員、副座長を垣内評議員にお願いしたい。 いかがでしょうか。 評議員一同 了承 事務局 それでは、ここからの進行を座長にお願いする。 議題 1 「八王子市文化芸術ビジョン」の平成30年度取組状況について 座長 説明を事務局から 事務局 「資料 1-1 文化芸術ビジョンの進捗管理の方法」 「資料 1-2 「八王子市文化芸術ビジョン」の平成 30 年度取組状況」 （説明） 座長 何かご意見・質問はあるか。 評議員 市として平成 30 年度の全体的な評価はどうか。 事務局 前年度に比べ予算は減少しているが、事業数は増加しており、所管の評価では、86%が目標を達成している。 市政世論調査の指標で、半年の間に文化活動に参加している割合が前年度より上がってきている。各事業を実施したことで、市民が身近に文化芸術に触れる機会が増えてきたことは評価できる。 八王子ビジョン 2022 に掲げる最終的な目標値には達していないので、指標を上げる努力をしていく。
------------------	---

	評議員 新たな取組はあったのか。 事務局 来年オリンピック・パラリンピックがあるので、文化の取組みも重要。 オリンピック・パラリンピックを意識した視点の事業が行われていて、来年はもっと増えていく。 評議員 事業実施形態は、市単独が意外と多い。 専門性がある指定管理や共催にしていくほうが良いのでは。 事務局 文化芸術事業の市の関わり方を検討していきたい。 評議員 「こたえる」では、C評価が16%と高く、事業実施形態は指定管理者が3割程度と高い。計画通りに目標が達成できなかった原因などを見た方がいい。 事務局 所管によって評価の物差しにばらつきがあるが、C評価になった原因は確認していく。 座長 新たに事業を開始する際、何年間実施するなど事業期間は決めているのか。 事務局 事業によって、様々な背景があるので、所管判断となる。 評議員 予算の組み立ては各所管が行い、事業の集約は学園都市文化課が行っているのか。 事務局 ご認識のとおりである。事業の集約方法は、教育委員会が実施している「生涯学習関連事業評価」から文化芸術事業を抽出している。 評議員 所管によって評価の仕方がそれぞれ違い、統一的な評価は難しいと感じる。
--	--

議題2 平成30年度文化施設等の管理運営状況について

座長

説明を事務局から

事務局

「資料 2-2 オリンパスホール八王子（八王子市民会館）」

「資料 2-3 芸術文化会館（いちょうホール）」

「資料 2-4 南大沢文化会館」

「資料 2-5 夢美術館」

「資料 2-6 学園都市センター」

（説明）

評議員

夢美術館の総合評価がB評価は厳しすぎるのでは。

事務局

モニタリングの評価項目は 6 つの視点で 40 項目あり、各項目のA評価の割合で総合評価が決まる。

その結果、夢美術館はB評価となってしまう。

評議員

夢美術館の喫茶室はなぜ閉店したのか。

事務局

市民団体が運営していたが、継続することが厳しくなり、一旦閉店とし市民利用スペースとして活用している。

幸い周辺に喫茶店が増えており、夢美術館の喫茶室の代わりになりつつある。

評議員

モニタリングの評価項目に、企画力、広報力などを問う項目はなく、集客数などの結果でしか評価がないのは違和感がある。

館管理だけではなく、資質を問う評価があるべきで、文化芸術振興にしては、いびつに感じる。

事務局

今後、文化施設をどのように評価していくべきか検討していく。

座長

市の方から確認しておきたいことはあるか。

事務局

皆さまからの意見は、次に改善していくうえで有益と考えている。

来年は、「文化芸術ビジョン」の中間見直しもあるので、皆さまから意見をいただく予定。

議題3 その他

事務局

会議録については、公開させていただく。

座長

以上をもって閉会する。